



きょうごく がっく 京極学区



学区の概要

北はほぼ上御霊前通、南は広小路通、東は鴨川を限り、西は相国寺東通を境界とする南北に細長い地域です。

平安京造営時は、学区の南部がわずかに平安京の東端にかかるのみでしたが、9世紀から10世紀にかけて、藤原良房の染殿、清和上皇の御在所ともなった清和院、また貴族政治の栄華を極めた藤原道長の上東門第など、政治的にも重要な意味をもつ貴族の邸宅が営まれるようになり、平安時代におけるこの地域の重要性は次第に増していきました。

鎌倉時代に入ると、現在の今出川通付近から以北にも、毘沙門堂、川崎観音堂などの寺社を中心として繁華な世界が出現。また歌人として名高い藤原定家の邸宅なども建ち並び、北への発展を遂げていきました。

豊臣秀吉による都市改造によって、寺町通の東側に、廬山寺、本禅寺、真如堂、十念寺など多くの寺院が文字どおり軒を並べ、その背後を取り囲むように、洛中と洛外を画するお土居が走り、この土居地および鴨河原の開発というかたちで、町地の形成が進められました。江戸時代の中期ともなると、旧土居地および鴨河原のほとんどは町地や公用地として生まれ変わっていきました。

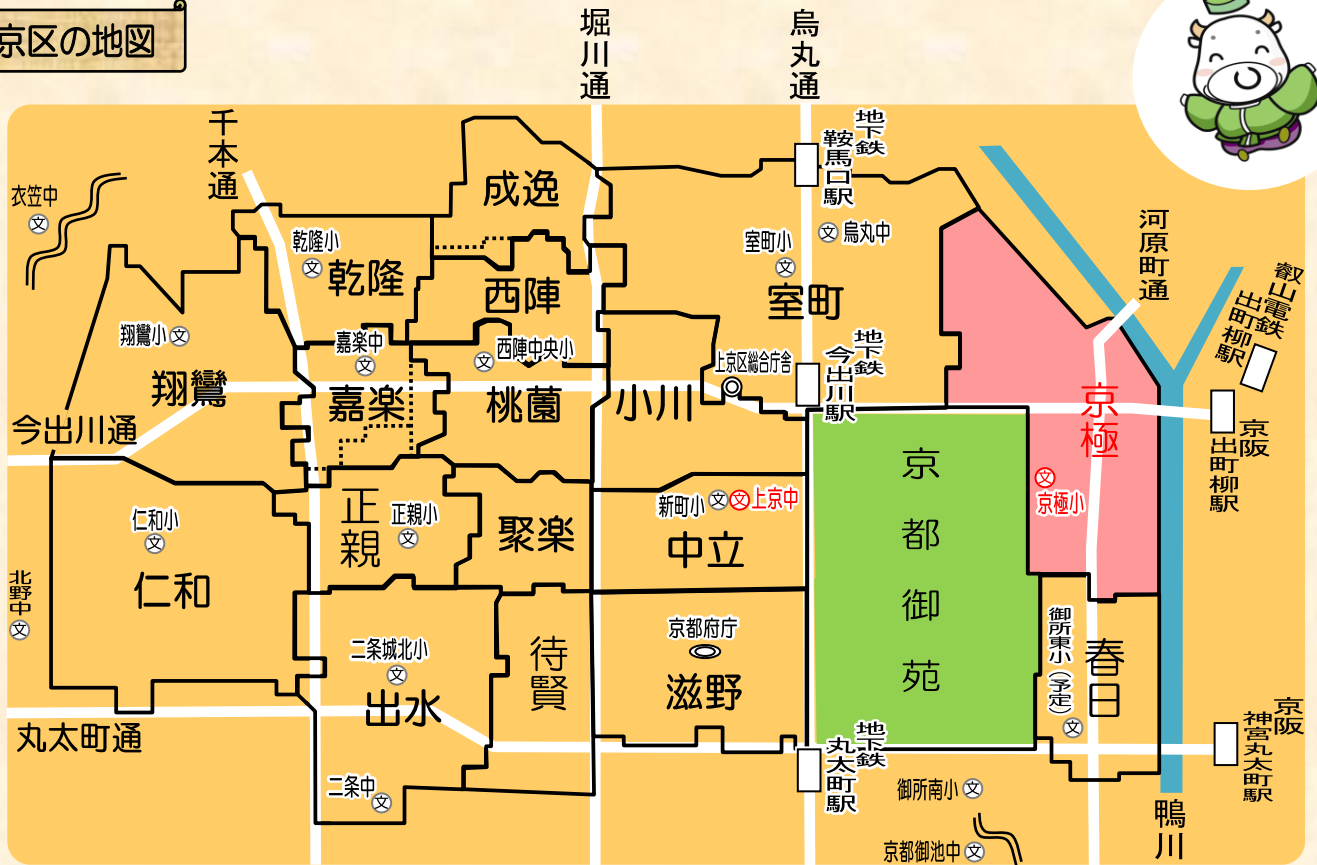
しかし、近代になると町の様相は一変します。明治10年には旧梶井宮邸に療病院が移転、同18年には梨木神社が創建、同34年は京都法政学校（現立命館大学）も移ってきました。そして大正から昭和にかけては、市電の今出川線と河原町線の開通も手伝って、急速に都市化が進みました。



廬山寺

京極学区と称するようになるのは昭和4年のこと。かつて北の方は、学者が多く住んでいたため、学者の町と呼ばれていたそうです。やはり緑豊かな御所のすぐ近くで、目の前に流れる鴨川といった閑静な場所が学問を研究する上で好まれたのでしょう。

上京区の地図



学区を代表する団体

京極住民福祉連合会

学区の主な行事

- 福祉体験活動●京極文化祭●紙芝居の出前●赤ちゃん訪問●ほっこりハート
- 料理教室●配食サービス●食事会●ふとんクリーニング●訪問（敬老月間）
- フラワープレゼント●子供みこし●ふれあいコンサート●文化体験
- 子供狂言（体験）●歴史探偵団●環境美化活動●早起き散歩会●各種スポーツ
- キャンプ●学区民プール開設●防災訓練●子供安全見守り隊●夜回り
- 消防団員の妻サービス●地藏盆●御霊神社●クリスマス会●成人式
- 広報誌の発行●七夕祭り●京極スマイルサロン●上京つどい・つながるカフェ

（発行）上京区役所 地域力推進室 まちづくり推進担当
電話 441-5040